

ティーチング・ステートメント

所属 保健医療学部看護学科

名前 飯島 美樹

作成日 2024年2月26日

【責任】

看護教員として専門科目である成人看護学を中心とした教育を行っている。看護学科での主たる担当科目は成人看護学、看護倫理、看護総合実習、卒業研究である。

大学院修士課程は医療倫理特論、博士課程は保健医療学研究倫理を担当している。今年度で修士課程の院生の主査が終了した。

【理念】

学生には専門家である看護師として自律するために、主体的な学習者として学習方法と態度を学び、専門的知識と技術を習得してほしい。なぜなら、膨大な知識量はすべて記憶されるものではなく、どこで何から得られた情報なのか、過去に戻り、復習する又は新たに学ぶ必要があると気づいたとき、知識を探究したり、統合したりすることができる。学生は他者に頼まれて看護師になるのではなく、自ら選択した道を自らの足で歩いてほしい。

看護職は様々な人々を対象とするため、社会人としてのルールを身につけてほしい。また、様々な医療チームで協力できる看護師になってほしい。

【方針・方法】

概要：以上の理念から、看護の専門家として自律的に学習することができる人材の育成を目指したい。そのために、授業を活用して知識の活用と統合について学生の理解を深めたい。

- ・方針1：授業の目的を明確にする
方法：授業内で伝達する情報量が多いため、授業開始時にその日の授業の目的とアウトラインについて説明する。学生が何のために授業を受けるのか動機づけをする。
- ・方針2：学生が購入した教科書を読み、理解を深められるよう説明する。
方法：教科書の図表を活用する。図の説明は教科書の本文内に書かれているが、理解しにくい学生のため解説する。
- ・方針3：大学のルールを守る
方法1：授業時間の開始と終了を守る。
方法2：UNIPAで出席をとる際は、他学生にKeywordを伝えない、聞かない。
方法3：欠席の場合の連絡方法を守る。
方法4：欠席した後の自己学習を自ら行う。
- ・方針4：知識の抽象化と具体化の昇り降りを理解する。
方法1：専門用語の意味を定義および歴史的背景から説明する。
方法2：概念を説明するとき、具体例を示す。
方法3：難読漢字の読み方を説明する。
- ・方針5：積極的に授業に参加する
方法1：GWを取り入れる
方法2：講義の途中で学生に「～についてどのようなイメージがありますか？」など発問する

- 方法3：わからないことは自ら調べる。
- 方法4：わからないことや知りたいことを調べる手段を調べる。
- ・方針6：演習に興味をもって参加する。
 - 方法1：各用具およびシミュレーターの基本的構造を理解する。
 - 方法2：人体に対する影響をイメージする。
 - 方法3：うまくできた・できなかったのはなぜか考えてみる。
- ・方針7：実習に興味をもって参加する。
 - 方法1：看護を実践する期待感をもてる
 - 方法2：看護を実践する不安感を表出できる
 - 方法3：看護実践の準備をする必要性を理解する。
 - 方法4：看護実践の達成度を評価する。
 - 方法5：自分の実践について省察する。

【成果・評価】

- ・ 授業アンケートの結果
- ・ 科目の評定（成績）
- ・ 他者からのフィードバック

【目標】

短期目標

- ・ 1～2年生には難しいことであってもわかりやすく伝えることができる。

長期目標

- ・ 様々な教授方法について学び、学生に生かすことができる。例えば、CHAT GPT や AI を若者が活用するとどのような功罪があるのか知りたい。